



シルバーささえ隊通信

2017年2月号 Vol. 7



1年で一番寒い季節を迎えました。風邪などひいてはいらっしゃいませんか？
今年は降雪量も少なく過ごしやすいですが、皆様の所はいかがでしょうか？
2月は高齢者見守り強化月間です。地域の温かい見守り活動をお届けします。
今回は中之島地域と与板地域の皆さんを紹介します。



ご活躍ご紹介コーナー
「シルバーささえ隊」
の皆様による地域の見守り活動！

酒 いわみや



店内はいつも近所の方が集まり、楽しいおしゃべりがつきません。互いにささえ、ささえられています。お店には交番から「“宅配便でお金送って”詐欺」の手口のチラシが届き、詐欺にあわないように、宅配便を送るお客様には「お金、入ってない？」と確認しています。

高齢者のお客様が比較的多いです。そのため、店内や駐車場等で困ってられる姿を見かけた時はお声をかけさせていただいております。また、お子様用のひざ掛けやかごをご用意して、楽しくお買い物ができる様努めています。

スーパーマルイ与板店



取材にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。ただの売り手、買い手ではなく、そこには温かいコミュニケーションがありました。サービスの必要な方にはお近くの地域包括支援センターを紹介いただき、サービスや見守りにより、その方が安心して地域で暮らしていらっしゃることを知りました。心もほっこりした1日でした。次回も皆様の優しいほっとな出会いを募集しています。

認知症にやさしい地域を目指して…

認知症による行方不明者が増加している中、大島地区で「行方不明者捜索模擬訓練」が行われました。今回は、その時の様子をご紹介します。

平成 28 年 10 月 23 日、大島コミュニティセンターに、大島地区住民、町内会長、町内役員、民生児童委員、シルバーささえ隊、介護サービス事業所職員等、約 120 名が集まりました。大島地区を 3 つのエリアに分け、それぞれのエリアに認知症役の人を配置し、3～4名のグループに分かれて捜索を行いました。



認知症の人への対応方法などを学び、訓練の手順を確認します。

認知症の人への対応方法

- 認知症の人へと関わる人の心がまえ
 - 認知症の人は何もわからないのではありません。誰よりも一番心配なのも、苦しいのも、悲しいのも本人です。さりげなく自然に接することが一番の支援です。
- 認知症の人への対応の心得 ～3つのない～
 - 1 驚かせない
 - 2 急がせない
 - 3 自尊心を傷つけない

雨の中、捜索へ出発！
警察署の協力も。



認知症役の人を発見。
優しく声をかけます。



捜索終了後、意見交換や感想の発表を行いました。



参加してみて、認知症について考える良い機会となりました。1人でも多くの方が認知症について正しく理解し、安心して過ごせる地域が広がっていくといいですね。

●いつもと様子が違う！と感じたときは…

長岡市長寿はつらつ課、各支所市民生活課、各地域包括支援センターまたは、
地区担当の民生委員・児童委員にご連絡ください。

《長岡市地域包括支援センター》

なかじま・おもてまち ☎30-1121	けさじろ ☎37-5700	ふそき ☎25-3354	みやうち・やまこし ☎39-0080
まきやま・みしま ☎29-7005	にしがなおか ☎29-6621	なかのしま・よいた ☎61-2600	こじじ・おぐに ☎41-3201
わしま・てらどまり ☎74-3808	とちお ☎53-2265	かわぐち ☎89-3974	